



仲間と共に

学校目標「めあてをもち 仲間と共に やりぬく心」

令和6年4月8日

ふるさと三輪南大好き

校長 石田耕太郎

今年も桜をはじめとした花々が、早く開花する予想がされておりました。しかし、3月に寒の戻りもあり、今年度のスタートを待っていたかのように、今校庭の花々が一斉に満開を迎えています。この日のために、昨年度から準備いただいた多くの方々に、感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございます。

令和6年度三輪南小学校は、昭和39年の開校から60年目を迎え、新1年生71名と転入生4名を加えた521名、また裏面に記載された教職員でスタートしました。

お子様のご入学、ご進級誠にありがとうございます。

令和元年度以来5年ぶりに、年度当初より様々な活動に制限がかからないスタートとなりました。昨年度徐々にコロナ禍以前の活動を取り戻してきましたが、今年度はコロナ禍での知見を基にして活動を創り出していきたいと考えています。



校舎の軒下を見ると、ツバメのつがいがかみを築っていました。最初は垂直な壁に爪を立て、とても不安定な中で何度も、何度も交互に飛んできては、ほんの少しずつ、本当に少しずつ泥を付けていました。翌日泥が乾き少し足がかりが出来ると、外に向かって膨らむように巣の形を作っていました。休む間もなく、何度も何度も少しの泥を運ぶことで巣の形が現れてきました。どこから泥を運んでいるのか不思議に思っていると、田んぼの土が起こされ、水が張られていることに気付きました。人々が稲作の準備を始めたことによって、ツバメたちは巣の材料を得ていた

のです。そして、その口で運べるだけの泥をくわえて巣を作っていたのです。

私にはツバメの営みが、三輪南小学校60年の歩みと重なりました。ふるさと三輪南の多くの方々が力を合わせ、6000名を超える卒業生の思いや願いが積み重なり創り上げられてきた三輪南小学校の歴史と伝統と文化。この先10年後、50年後、100年後と受け継がれていくもの。日々の小さな、小さな営みが積み重ねられて新たな歴史と伝統と文化が育まれていきます。「ふるさと三輪南大好き」の合言葉のもと、次の10年を作るべく取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

学校目標：めあてをもち 仲間と共に やりぬく心

めあて・・・めあてをもち自分から動く子

仲間・・・仲間を思いやり協力して取り組む子

やりぬく・・・あきらめずに最後まで頑張る子

1 だれもが安心して過ごせる、笑顔があふれる学(楽)校！

- (1) 安全・安心・・・アフターコロナにおける安全・安心な生活
- (2) 多様性・・・521人の児童一人ひとりの個性を大切に、多様なニーズに対応
- (3) 連携・協働・・・家庭・地域との連携・協働を密に
- (4) 資質向上・・・教職員の資質向上（学び続ける・挑戦）、働き甲斐改革

2 「真」の喜びと感動を味わうことができる魅力ある学校！

- (1) 「相手を思う」やさしさあふれる子の育成
- (2) 「自分から考え」行動する子の育成

